



第7回日本肩関節学会 キヤダバーワークショップの開催案内

この度、第7回日本肩関節学会キヤダバーワークショップを2023年11月25日（土）・26日（日）に、名古屋市立大学先端医療技術イノベーションセンターにて開催する運びとなりました。

例年、教育研修委員会では、実習研修として、2015年、2016年、2018年、2019年、2021年、2022年（2020年はコロナ禍のため中止）とキヤダバーワークショップを実施しております。今年度も感染予防対策を十分に行った上で開催することに致しました。

本キヤダバーワークショップの特徴は、

- ① **参加者15名**に対して、**6名**の講師による指導体制であること。
（関節鏡：1テーブル（受講生2名）／直視下手術人工関節コース：1テーブル（受講者3名）に専任の講師が配置され、常に技術指導が受けられます。
- ② 座学の講義（合計2時間、日整会単位2単位取得可能）も含まれ、最新の関節鏡手術手技と人工関節手術手技を学べること。
- ③ **Whole body**の献体を利用するため、より実際の手技に近い状態で手術ができること（手術のセッティング、術中肢位の取り方、適切なテンションの把握、神経血管束との位置関係の理解など、より実践的な能力を身につけることができる）。
- ④ 人工関節コースでは講師のデモンストレーションを間近で観ることができること。
- ⑤ 関節鏡コースでの手術動画、人工関節コースにおける講師のデモンストレーション動画がどちらのコースの参加者にも配布されること（データの取り扱いは個人利用に限る）。
- ⑥ 海外渡航と比較して旅費が安く、移動時間が短いこと。
- ⑦ 肩関節学会員であれば誰でも参加できること。

このように、本ワークショップでは国内研修の利点と特徴を生かし、会員の皆様からのアンケートも参考に最新の手術方法、技能を習得できる講習内容となっています。

また、過去の研修会と比較して献体準備費などの経費の関係上、参加費が高くなっている点についてご理解頂きたいと思っております。

つきましては、募集内容・注意事項をご確認の上、ご希望の会員の先生方からのお申込みをお待ちしております。

一般社団法人日本肩関節学会
日本肩関節学会教育研修委員会
日本肩関節学会教育研修委員会

理事長 菅谷啓之
担当理事 菊川和彦
委員長 後藤英之

【会 名】 第7回日本肩関節学会キャダバーワークショップ
【会 期】 2023年11月25日（土）・26日（日）の2日間
【会 場】 名古屋市立大学先端医療技術イノベーションセンター
〒467-8602 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地
【主催】 名古屋市立大学大学院医学研究科 整形外科教室
【共催】 日本肩関節学会

【開催概要】

近年、肩関節外科において様々な手術技術が開発されている。それらの技術は的確に行われれば安全で質の高い医療として受け入れられることが可能であるが、その習得に時間がかかるのが現状である。肩関節鏡手術では関節内・関節外構造の理解と立体的オリエンテーションが大切であり、直視下手術では神経血管束を避け侵襲を最小限にするための適切なアプローチ方法や人工関節の設置方法など動物の肩関節を用いて実習することが不可能なものである。

日本肩関節学会キャダバーワークショップの目的は、肩関節の基本的手術として必須である肩関節鏡視下手術、人工関節置換手術、関節脱臼制動手術、肩腱板縫合手術に必須な肩関節に特有な手術アプローチを習得するために、解剖標本を用いてシミュレーション手術を体験し、安全で確実な手術技術を習得することである。

今回実施する肩関節学会キャダバーワークショップでは、献体された方々の崇高な意思を忘れることなく、感謝と敬虔な態度で遺体に接することで、生命の尊厳への理解を深めてゆく。手術手技研修の前後には参加者全員で献体に黙祷をささげる。

【募集人数】 15名（関節鏡コース6名、直視下手術人工関節コース9名）

*詳細は、注意事項「1」をご参照ください。

【研修参加費】 関節鏡コース：16万円/名

直視下手術人工関節コース：16万円/名

（交通費、宿泊費等、別途個人負担）

【申込方法】 ページ下部の参加申込書をダウンロードしてお申込みください。

【参加費振込】 参加の確定連絡が届きましたら、ご案内させていただきます。

今回、参加費を名古屋市立大学と日本肩関節学会の2か所

にお振込みをいただく必要があります。振込手数料が2回かかりますことを予めご了承くださいませようお願いします。

【応募資格と選考基準】

1. 日本肩関節学会の会員であること

2. 日本肩関節学会の2022年度年会費を納付済であること

（2022年度会期：2022年8月1日～2023年7月31日）

※選考は日本肩関節学会教育研修委員会が行います。

※応募者多数の場合は、選考に漏れることもございますので、予めご了承ください。

※選考に漏れた場合は、次回の応募で優先的に選考されることと致します。

【実施内容】 肩関節鏡視下手術、人工肩関節置換手術、
肩関節直視下手術、サージカルアナトミー

【講師】 (予定)

関節鏡コース：

国分 毅 (神戸医療センター 整形外科)

内山善康 (東海大学医学部附属八王子病院 整形外科)

酒井忠博 (トヨタ記念病院 整形外)

直視下手術人工関節コース：

菊川和彦 (マツダ病院 整形外科)

小林尚史 (八王子スポーツ整形外科)

後藤英之 (至学館大学健康科学部健康スポーツ科学科)

【運営協力】 NPO メリジャパン

【スケジュール】 *予定

2023年11月25日(土曜日)

08:30 集合・キャダバーに関する諸注意

09:00 黙祷：キャダバー実習

12:00 休憩

13:00 キャダバー実習

16:00 縫合・片づけ・黙祷

17:00 終了

*18:30 より別会場にて「肩関節疾患手術手技フォーラム」を開催いたします。

日整会単位2単位が取得可能です。

2023年11月26日(日曜日)

08:30 集合・キャダバーに関する諸注意

09:00 黙祷：キャダバー実習

12:00 休憩

13:00 キャダバー実習

16:00 縫合・片づけ・黙祷

17:00 修了証授与・閉会の挨拶

【注意事項】

1. 検体の数に限りがあるため、全ての手技を行うことは困難です。
 - ① 肩関節鏡視下手術（3体6肩）6名
 - ② 肩関節直視下手術（人工関節置換術を含む）（3体6肩）9名または（2体4肩）
いずれの2つのコースから選んでいただきます。
またサージカルアナトミーについてはそれぞれのコース終了後に行って頂きます。
2. 会場までの旅費交通宿泊費は、参加者負担になりますのでご了承ください
3. 遺体は既知のウィルスおよび細菌への感染の危険がなく、生体と極めて近い状態を保持するホルマリン固定保存法である Thiel 法固定を行っています。またご遺体の状態は既往症、固定の状態等により差が生じます。あらかじめご承知おきください。
4. セミナー中は手術用ディスポーザブルガウン、ディスポーザブルのスクラブ上下（サイズが限られますので、ご自身のものをお持ち込みいただくことをお勧めいたします）、手袋、帽子、マスク、シューカバーを着用いたします（事務局で用意）。センター内で履いていただくサンダル等の用意はございません。シューカバーは用意しておりますが、万が一汚れてもよい履き物でご参加ください。学生実習用献体と同じ扱いですので、アイガードは不要です。
5. 外出後の再入室時には帽子、マスク、ガウン等汚れていない場合は再利用をお願いします。
6. 開始時のオリエンテーションと黙祷に遅れないために、途中参加は認めません。
早期の退出は、事務局に申し出てください。
7. いったん納付された参加費の返却はいたしませんので、ご了承ください。服装は質素で動きやすいものをお願いいたします。ジャージ姿は認めません。
8. 解剖のピンセット、メス、はさみなどはこちらで用意します。のこぎり、木工用ドリル、K-鋼線、ペアン、筋鉤なども用意いたします。細かい手術操作を希望される方は、自分用のはさみなど、手術器具を用意してください。その他、手術手技で用意するアンカーやスクリューなどは事務局で用意しますので、持参する必要はありません。
9. 解剖台や床の破損、汚染を起こさないよう、十分な配慮をおねがいします。標本の破片は個別の専用のボックス、使用済み手袋はゴミ箱、メスは針用のボックスに入れてください。標本の撮影は可能ですが、個人が特定できないように部分的なものに限定します。
詳細は講師または当日受付に問い合わせください。
10. 本セミナー参加にあたり、免責書類に全員の先生がたの同意・署名を頂きますので、ご理解の上ご協力をお願いします。記入後は担当者が書類を回収します。

【お問合せ先】日本肩関節学会事務局

〒108-0073

東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル 8階

(株)アイ・エス・エス内

T E L : 03-6369-9981

F A X : 03-6369-9982

E-mail : office@shoulder-s.jp

第7回日本肩関節学会キャダバーワークショップにおける新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン
日本肩関節学会教育研修委員会

はじめに

本ガイドラインは新型コロナウイルス感染の予防及び対処について、キャダバーワークショップに参加されるすべての方（参加者、講師、サポートスタッフを含む）に推奨する手順をお示しするものです。皆さまにはぜひ、個人防衛をお願いします。

本ワークショップに携わるすべての皆さま、そのご家族一人一人が、新型コロナウイルスの特性を理解し、感染を予防する行動を取ってください。「体調が悪いが、我慢してワークショップに出よう、2日目なので少し参加するだけだ。」といった考えや行動が、その方が所属する集団に感染を広げてしまう可能性があります。発熱・咳・倦怠感などの症状を認めたら休む勇気を持つこと。そのことを主催者に報告する勇気をもつことを、是非お願いいたします。

1. 感染予防の原則

- (1) 「3つの密（密閉、密集、密接）」を避ける
- (2) 手洗いと咳エチケットを守る
- (3) 口・鼻・目に不用意に触れない
- (4) 規則正しい生活とバランスの取れた食事
- (5) 新しい生活様式

長期間にわたって感染拡大を防ぐために、飛沫感染や接触感染、さらには近距離での会話への対策を、これまで以上に日常生活に定着させ、持続させる。

2. 感染の予防のための具体的な行動

A. 毎日の健康チェック

コロナウイルス感染の徴候がないか、2週間前からモニタリングします。

- (1) 体温測定：起床直後・就寝前等、決まった時間での体温記録
・検温時間と体温を、毎日記録していただきます
- (2) 問診表チェック：倦怠感、咳、咽頭痛、食欲低下の有無、睡眠時間など
- (3) データの管理、モニタリング

- ・ワークショップ前2週間から期間中において、各個人の体調データを提出していただきます。
- ・終了後1週間以内に体調不良や罹患された場合は直ちに主催者にご連絡ください。

B. ワークショップ期間中の感染予防

- ・ワークショップ開催以外、休憩時でもマスクを必ず着用してください。
- ・昼食時は離れて食事をし、マスクを外した状態での会話はしないで下さい。
- ・夕食では、5名以上の対面での会食はしないで下さい。
- ・着替えの際は密集しやすいため、会話は極力慎み、時間差での利用をお願いします。

C. 県外からの移動について

- ・開催地である愛知県はこの1年間、関東圏、関西圏と比較して感染拡大の状況は落ち着いており、本会開催時も著しい変化がない限りは、開催を予定通り行うことができると考えています。また、大学側も県外からの参加者に対する特に制限事項（陰性証明書の発行や自宅待機など）はありません。

第7回日本肩関節学会キャダバーワークショップ 参加申込書

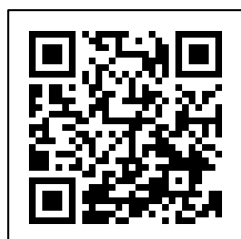
会 期：2023年11月25日（土）・26日（土）の2日間
 会 場：名古屋市立大学先端医療技術イノベーションセンター

※以下の内容をご記入ください。

ふりがな お名前			
ご所属			
ご所属先住所	〒		
E-mail			
TEL			
FAX			
当日の連絡先			
請求書送付先 ※必要な場合	〒		
医学部卒業年次 ※西暦で記入	年	月	日 整会専門医番号
希望コース	A. 関節鏡コース（6名）, B. 直視下手術/人工関節コース（9名） どちらかに印をつけて下さい		
備考			

私、 _____ は、応募資格と選考基準である1、2に
 すべて該当していることを誓います。

WEBからも入力可能です。



【送付先】日本肩関節学会事務局

〒108-0073

東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル 8 階

(株)アイ・エス・エス内

TEL : 03-6369-9981

FAX : 03-6369-9982

E-mail : office@shoulder-s.jp